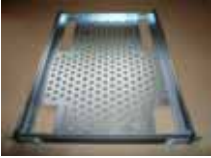



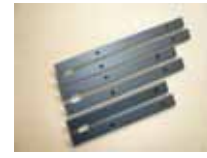


SRM-T3

組立て説明書

お買い上げいただきありがとうございます。SRM-T3は、ソニー(株)製VTRのDNW/BVW/DVW/UVW/MSW/HDW/DSR/SRW/XDSシリーズをEIAの19インチに収納する為のmountテーブルです。
XDSシリーズ実装の際は裏面をご参考ください。

各種部品表

スライド棚(フロント熊手付)	コの字型金具(2本)	Z型金具(4個)	リア熊手(2種類)	レール隠し(3種類ビス付)
				

ネジA(16個)	ネジB(8個)	ネジC(10セット)	ネジD(4個)	その他
				
Wセムスネジ M4x10	バインドネジ M5x8	バインドネジ M4x8 10個 フランジナット M4 10個	Wセムスキャップボルト M4x12	六角レンチ 1本 M4バーナット2本 スペーサー 12枚 ゴムシート 4本 XDSシリーズ用ゴム脚4個

1. スライド棚からアウターレールを引き抜く



写真1

開封後、すでにスライド棚に取り付いているアウターレールをラッチを引きながら引き抜く。(フロント熊手付)

レール破損の原因となりますので、必ずラッチを引いた状態でレールを引き抜いて下さい。(写真1参照)

2. アウターレールをフロントレール側に取り付ける

写真2-1の様に、アウターレールをフロントレールにネジBを使用して仮止めをする。

* この時、熊手のセンター穴がラックレールの中心にくるように合わせて下さい。(写真2-2参照)



写真

2-1

3. ラックリア側へのリア熊手の取り付け

・ラックリア側にEIA19インチ M5レールがある場合

リア熊手は、2種類あります。取り付け用穴が開いている部分の幅が短い熊手(丸穴タイプ)を使用します。リア熊手をネジCを使って、スライドレールに緩く仮締めします。ラックの後側からネジBを使用してリア熊手を固定します。先に仮締めしたネジCを増し締めしてください。



写真2-2

その他リア側サブフレームに取り付けの場合

リア熊手 2 種類のうち取り付け用穴が開いている部分の幅が長い熊手(長穴タイプ)を使用します。
 リア熊手をネジCを使って、スライドレールに緩く仮締めします。
 ラックの後側から付属の M4 バーナットとネジDを使い、六角レンチでラックにリア熊手を固定します。
 先に仮締めしたネジCを増し締めしてください。

4. スライド棚を組立てる XDS シリーズ 実装は裏面参照**(ア) ゴム足を使用した簡易着脱方式の場合**

Z型金具をコの字型金具の内側へ、Z型金具のU字部分がお互いに外向きになるようネジAで緩く仮締めして下さい。

VTRを平らな場所に置き裏返し、写真3を参考にコの字金具をVTRの足に被せます。

スライド棚をコの字金具へ被せ、コの字金具前面部がVTRの前パネル(可動部)にかからない程度になるべく前にスライドさせ、スライド棚とコの字金具をネジAで組み立てて下さい。写真4参照

スライド棚がVTRの幅方向の中心になるように、スライド棚を左右にアライメントし、Z金具をVTRの左右外側へ引くようにして、仮締めしたZ金具を増し締めします。

*** 同棚の短冊状ゴムは、機器のスベリ止め(キズ防止)として使用することができます。**

<コの字金具の細い部分4ヶ所に貼ってご使用ください、>

(イ) ゴム足を取り外した方式の場合

VTRを平らな場所に置き裏返し、VTRのゴム足を取り外して下さい。

ゴム足の代わりにコの字金具のU字に切欠いてある部分を使用して、

VTR付属のネジ若しくはネジAでVTRに取り付けて下さい。

VTRによってはネジの長さが長い為、内部基盤を破損する可能性がありますので十分注意して下さい。

スライド棚をコの字金具へ被せ、コの字金具がなるべくスライド棚の前側にくるように調整し、ネジAで固定して下さい。

**5. スライド棚をラックに取り付けたアウターレールへ差し込む**

スライド棚をラックに取付けたアウターレールへ差し込みます。(VTRのネジによる固定方式の場合はVTRと一緒に差し込みます。)
 差し込む途中でスライドレールのロックシステムが働きますが、左右の板パネを押しながらスライド棚を奥まで差し込みます。
 必ずラッチがかかるまで差し込んで下さい。

6. VTRをスライド棚にマウントする(* スペースをゴム足の下にセットする。* 別紙組み合わせ一覧表参照)

別紙スペースの一覧表から該当するVTR用の組み合わせをつくり、VTRのゴム足が乗るスペースを貼り付けます。(* VTRには、個体差がある為、微調整が必要となる場合もあります。)

VTRを2人以上で左右から持ち上げ、VTRのゴム足がZ金具にあたらないようにゆっくり載せます。

(* ゴム足を取り外した方式の場合は必要ありません。*)

7. レール隠しブラケット取付ける

レール隠しブラケットは5UVTR用、4UVTR用、3UVTR用の三種類があります。

レール隠しを内蔵のビスで写真5のように取り付けます。

この時、必ずマウントブラケット最端部口の字部分を覆うように取り付けして下さい。

写真5



製造元 株式会社**ガンスイ**

〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町北永井 913-3

電話 049-259-6645 FAX 049-259-6656

* 本製品の仕様及び外観は、改良のため予告なく変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。 *